

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		事業コード		150506	埋蔵文化財遺物整理事業	担当部課	部課コード	150500	2998-9253		
開始年度		昭和 50 年度		終了年度		年度		グループ	埋蔵文化財		
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画									
	関連・類似事業	埋蔵文化財発掘調査事業 発掘調査報告書刊行事業						文化財保護法 埼玉県文化財保護条例 所沢市文化財保護条例			
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	市民文化	基本方針	風土に培われた歴史と文化の伝承と発信				
事業開始の背景	発掘調査終了後、記録保存及び公開という意味から「発掘調査報告書」の刊行が義務付けられており、本事業は、この報告書刊行を行うための先行事業として行われる。										
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)										
	発掘調査の出土遺物は、放置されてしまえばその歴史的価値を失うが、整理作業を行うことによって、「発掘調査報告書」に掲載する遺物として歴史的価値が生まれる。										
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	85	件	平成 27 年度	87	件		
事業の具体的な内容及び実施方法	遺物の水洗(歯ブラシを使って遺物の土を洗い落とす) 注記(出土地点名を遺物に記入する) 接合(バラバラになっている遺物をつなぎ合わせる) 復元(遺物の欠損部分を石膏で補完する) 着色(石膏部分に色を塗る) 報告書に掲載する遺物を選ぶ 実測(遺物の図面を描く) 拓本(遺物の文様を墨で写し取る)										
	作業は、正規職員指導の下、臨時職員2~3名がチームとなって実施する。										
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)					
	予算現額			9,387	9,345	9,520					
	決算(見込み含む)			7,973	6,405						
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(	0.40 人)	(	0.40 人)	(	0.40 人)	(	0.40 人)		
	正規職員人件費			0.28 人	2,442	0.30 人	2,598				
	事業費合計			10,415	9,003						
財源内訳	一般財源			10,415	9,003	9,520					
	国・県支出金										
	その他( )										
実績	活動実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標			
		整理作業遺跡数	発掘調査の調査回数	件	45	49	55	100			
		整理作業遺構数	住居跡ほか遺構の件数	件	590	648	700	1,300			
成果	成果指標	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標			
		発掘調査報告書刊行調査回数	発掘調査報告書に掲載した調査回数の累計	件	395	400	400	450			
		目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率	78	79	どちらかをチェックしてください			
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)					(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	平成27年度は、国庫補助事業で実施した発掘調査の出土遺物量が多かったことから、年度内に報告書を刊行できるよう、国庫補助事業分を優先して整理作業を進めた。					整理作業を行う調査数を上回る発掘調査が例年実施されており、発掘作業に整理作業が追いつかない状況が続いている。					
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	整理作業は、「発掘調査報告書」刊行に欠かせない作業ではあるが、現状の体制でも、よりよい遺物整理作業が進むよう取り組んでいく。					
		<input type="checkbox"/> 終了		<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他							
評価	評価	次年度予算		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	現状の職員体制でも、よりよい遺物整理作業が進むよう取り組んでいく。					
		(1)平成28年度に取り組んでいる状況					(2)今後の方向性				
		平成28年度も国庫補助事業として実施する発掘調査の遺物量が通常より多い見込みであることから、年度内に報告書を刊行できるように、国庫補助事業分を優先して整理作業を進めている。また、土器等の接合にかかる時間の短縮を図っている。					景気の回復や北秋津・上安松区画整理事業の開始により、今後は発掘調査の増加が見込まれることから、調査体制の整備(正規職員と臨時的任用職員の増員等)を進めるとともに、職員個々の資質向上にも努めていく。				
評価日	H28.8.10		評価者職氏名	文化財保護担当参事兼文化財保護課長 木村立彦							
環境影響	有益な環境影響	5-4歴史・文化的環境の保全			有害な環境影響を及ぼす原因活動	土器や石器の復元・実測		規制を受ける環境法令等	無		
								緊急事態	無		